

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・健康ふれあいマラソン大会を開催
- ・厚幌ダムカムイノミ・イチャルパ
- ・「情報メディアの利用」に関するアンケート結果について
- ・新教育委員に金光えりさん就任
- ・森のひろば2017
- ・就学時健診のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

秋空のもと、新記録目指して

10月9日(体育の日)、スポーツセンター周辺を会場に「第18回健康ふれあいマラソン大会」が開催され、約230人が参加しました。各部門の1位の記録は次のとおりです。

◆小学生の部(3km)

【1年生男子】	梶谷 卓矢	16分30秒
【1年生女子】	中島 榎音	15分51秒 [㊦]
【2年生男子】	土居 友祐	15分23秒
【2年生女子】	清野 百花	18分52秒
【3年生男子】	沼田 奏和	15分17秒
【3年生女子】	中島 花奏	15分57秒
【4年生男子】	真野 薫	14分51秒
【4年生女子】	久保 花菜	15分12秒
【5年生男子】	濱島 和希	13分00秒
【5年生女子】	寒河江瑞希	14分24秒
【6年生男子】	佐藤 遥斗	12分33秒
【6年生女子】	張石 夏帆	13分26秒



←一斉に
スタート☆

◆中学生の部

【男子】(5km)	大捕 匠翔	20分30秒
【女子】(3km)	赤間 朱樹	13分23秒

◆一般の部

【男子】(5km)	佐藤 力	18分44秒
【女子】(3km)	梶谷みゆき	14分58秒

新記録達成☆
おめでとうございます！→



※[㊦]は大会新記録です。

アイヌ民族伝統儀礼 厚幌ダム カムイノミ・イチャルパを終えて

10月1日に厚幌ダム管理事務所棟広場に於て、厚真アイヌ協会主催で神々に感謝を捧げる儀式であるカムイノミ、この地域に暮らしていた先人たちをしのぶイチャルパが開催されました。

翌日に厚幌ダム湛水開始を控えたこの日、宮坂町長、木戸副議長のほか、北海道アイヌ協会より加藤理事長、厚幌ダムより吉村所長も参列され、約80人の参加者とともにおごそかに儀式が執り行われました。

また、アイヌ文化伝統料理試食会と苫小牧、白老、むかわの各アイヌ協会による古式舞踊やムックリ演奏のほか、厚幌ダム堤体見学では水没直前の風景を望むこともできました。

今年でカムイノミは11回目を迎えましたが、関係者、参加者の皆様の参列のもと、心に残る儀式となりました。



厚真町児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動展開中！

数字に見る厚真の子どもたちの生活

(小4から中3までの229人の1週間の生活実態のまとめ)

児童生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動の取組の一つとして、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、1学期に1週間の期限で「生活リズムチェックシート」を活用した「生活リズム定着」の取組を行いました。以下、子どもたちの生活の実態をお知らせしますとともに、土曜日や日曜日も含めて、ご家庭で子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図っていただきますようお願いいたします。

項 目	向上運動の 目標（目安）	観 点	比 較	小学生123人の 平均（小4～小6）	比 較	中学生106人の 平均（中1～中3）
睡眠時間	小学4年生～6年生 9時間 中学生 8時間	平日の睡眠時間 の平均	↓	8時間44分 （昨年比 -7分）	↑	7時間44分 （昨年比 +3分）
朝ご飯	100%	朝ご飯の摂取 率	↓	98% （昨年比 -1%）	↑	98% （昨年比 +2%）
家庭学習	学年の目安の時間	平日の家庭学 習の時間	↑	54分 （昨年比 +1分）	↓	1時間15分 （昨年比 -3分）
読 書	10分以上	平日に家庭で 読書をする時間	↓	14分 （昨年比 -3分）	↑	11分 （昨年比 +2分）
運 動	運動や手伝いを合わせ て、1時間以上	家庭での運動 時間（学校での 体育や部活も 含めて）	↓	1時間12分 （昨年比 -1分）	↑	1時間22分 （昨年比 +11分）
手伝い		平日の手伝い の時間	↑	15分 （昨年比 +2分）	↑	12分 （昨年比 +2分）
メディア	すべてのメディアを含 めて、1日2時間以内	平日にテレ ビ・ゲームを 利用する時間	↑	1時間15分 （昨年比 -4分）	—	1時間03分 （昨年比 同分）
		平日にケー タイ・スマホを 利用する時間			↑	利用者の平均 53分 （昨年比 -1分）

- ・子どもたちが帰宅後、家庭で自由に使える時間は限られています。
- ・テレビやゲーム、パソコン・スマホの時間が増えると、睡眠時間や家庭学習の時間、家族との会話などが犠牲になってきます。アウトメディアに取り組み、生活習慣を見直させましょう。
- ・土曜日や日曜日に寝過ぎる場合や、平日と同じように起きられない場合は、寝不足状態が続いている可能性があります。
- ・無駄にしている時間を減らすことが大切です。
- ・土日規則正しい生活を心がけさせ、望ましい生活リズムを身につけさせましょう。

森のひろば2017開催

昨年に引き続き2回目の開催となった「森のひろば2017～あつまでちょこっと森あそび～」(町教委主催、森のひろばプロジェクト実行委員会主管)が、10月1日(日)、豊沢の町環境保全林で開催され、気持ちの良い青空の下、町内外から親子連れのファミリー60組150人が参加し、森あそびを満喫しました。

会場の環境保全林には、ロープを使って10m以上の樹上に登る「ツリーイング体験」をはじめ、ターザンロープや基地づくりなどの森あそびコーナーや、森の素材を使ったアクセサリや小物等を制作体験できるクラフト体験、軽食、カフェコーナーなどさまざまなブースが出店し賑わいを見せていました。



新教育委員に金光えりさんが就任

10月17日付けで教育委員の任期が満了となった森本早苗さんの後任として、10月18日に金光えりさん(上厚真・54歳)に宮坂町長から任命書が交付されました。

新教育委員に任命された金光えりさんは、大学卒業後、昭和60年4月に厚真中学校教諭として着任し、7年余にわたり教鞭を振った後、子育てに専念するため退職。平成6年4月からは家事・子育てをしながら初任者研修講師や期限付教諭として町内外で活躍されていました。また、平成24年4月からは本町の小学校で特別支援教育支援員として従事しており、本町の学校教育に精通しています。



金光えりさん

任命書を手渡された金光委員は「学校訪問などで教育委員さんを見かけていましたが、自分が任命され、大変重責に感じています。微力ですが一生懸命頑張っていきたいと思います」と教育委員としての抱負を話していました。

9月定例教育委員会

9月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚真町通学路安全推進会議について、中学生海外派遣研修事業保護者説明会について、児童生徒演劇鑑賞会、厚真町放課後児童クラブ整備に関する意見交換など(10件)

◆議案

厚真町立学校管理規則の一部改正について、厚真町教育委員会事務局職員の人事について(2件)

◆協議事項

平成29年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

◆その他

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について、平成29年度教育委員学校訪問について(予定)、平成29年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について(予定)

★問合せ

教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

新入学児童健康診断のお知らせ

平成30年度に小学校へ入学する町内の児童を対象に健康診断を実施いたしますので、必ず受診するようお願いいたします。

対象となる児童にはすでに案内を送付していますが、まだ案内が届いていない場合や、当日受診できないお子さんがいる場合は、教育委員会へご連絡ください。

◆厚真中央小学校への入学予定者

実施日 11月10日【金】
12時50分～13時00分受付

会 場 厚真中央小学校

◆上厚真小学校への入学予定者

実施日 11月7日【火】
13時00分～13時10分受付

会 場 上厚真小学校

◆受診項目

身長、体重、内科、歯科、視力、聴力、知能検査

◆対 象 平成23年4月2日から平成24年4月1日に生まれたお子さん

◆問合せ 教育委員会学校教育グループ
☎27-2494



【お知らせ】

知能検査の時間中に、新入学児童の保護者を対象とした子育てに関するセミナーを開催します。ぜひご聴講ください。(社会教育グループ)

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)



世界の文学ニュース



2017年ノーベル文学賞にカズオ・イシグロさんが選ばれました。イシグロさんは長崎県で生まれましたが、お父さんのお仕事の関係でイギリスへ移住しました。音楽家になりたかったのですがかなわず、大学で修士号を取りイギリスを代表する作家となりました。受賞の連絡をもらった時には「ウソだ」と思ったそうですが、BBC（英国放送協会）から取材の電話がかかってきて「本当かも」と思ったそうです。

イシグロさんの作品は、緻密で繊細といわれます。英語で出版されますが、翻訳者の努力があって初めてでも読みやすいとも言われています。夜が長くなる季節、暖かな室内でゆっくりと小説を読んでみてはいかがでしょうか。

図書フェスティバルについてお知らせ

公民館図書室では例年、厚真町文化祭に合わせて図書フェスティバルを開催していましたが、今年度は新型プラネタリウムのお披露目放映が行われるため、開催を延期することとなりました。開催時期は冬休み頃を予定しています。マナビカレンダーに標記されております日程とは異なりますことをご了承ください。

なお、文化祭期間中は図書室にておとぎ話をテーマにした特別展示を行います。皆様ぜひ足をお運びください。

11月、プラネタリウムが変わります

変わる★ポイントその1：プラネタリウム新機種がいよいよデビュー！

変わる★ポイントその2：プラネタリウム定期投影が月1回から週2回に変更！

プラネタリウム投影

○プラネタリウムリニューアルオープン

11月3日（祝）

①午前10時30分～

②午後1時30分～

11月4日（土）

①午前10時30分～

○11月5日以降

・毎週火曜日 午後3時30分～

・毎週土曜日 午後1時30分～

ところ：青少年センタープラネタリウム室

天体観望会

「月・すばるをみよう」

と き 11月22日（水）

午後6時～7時30分

※天候不良の場合は、プラネタリウムでの星空解説を行います。

ところ 青少年センター天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

お問合せ先：

教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495



新着図書紹介



平成29年10月27発行

ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

文芸書

『悦ちゃん』

獅子 文六/著

作者の獅子文六は明治26年生まれ。なぜ今またブームに？理由は、NHKのドラマ、出版社の情熱的な応援、初めて読む世代がおもしろいと話題にしたことなどいろいろな理由があるみたいです。いい作品はいつ読んでも面白いです。



その他の新着文芸書

- ・花咲舞が黙ってない 池井戸 潤/著
- ・草笛物語 葉室 麟/著
- ・ワルツを踊ろう中山 七里/著
- ・わろてんか 上 NHK連続テレビ小説

児童書

『卒業しよう！めんどくさがり』

名越 康文/監修

勉強したり遊んだりしたあとに、「めんどくさい」と思うことないかな。大丈夫！その気持ちと上手に付き合っていけば、めんどくさいと思うことが少なくできるみたい。第一歩として、めんどくさがらずに、この本を読んでみよう。



その他の新しい児童書

- ・ルルとララのハロウィン あんびるやすこ/作
- ・漱石先生の手紙が教えてくれたこと 小山 慶太/著
- ・怪盗クイーン ケニアの大地に立つ はやみね かおる/作

実用書

『かみやすい、飲み込みやすい健康ごはん』

噛みにくいからご飯を食べるのが億劫になる、そのうちに栄養失調に。お元気な方はしっかり食事をとっていらっしゃいます。いつまでもお元気でいていただくために、食べやすいよう調理に工夫を凝らしたレシピ本を選んでみました。



その他の新着実用書

- ・吉本せいの生涯
- ・富裕層のバレない脱税 佐藤 弘幸/著
- ・100歳まで元気でいるための歩き方&杖の使い方 西野 英行/著
- ・地方創生大全 木下 齊/著

絵本

『きょうふのおばけにんじん』

アーロン・レイノルズ/作

うさぎのジャスパーはにんじんがだいすき。いつでもにんじんをかじっています。あるひ、にんじんをぬいていると、うしろから「キャロ…キャロ…」とこえがきこえます。ふりむくとそこには…。ハロウィンにぴったりのちょっぴりこわいえほんです。



その他のあたらしいえほん

- ・あさごはんできた！ 吉田 朋子/作
- ・ハロウィーンのひみつ はやし ちかげ/作
- ・魔女たちのパーティ ロンゾ・アンダーソン/作



～図書室からのお知らせ～



■11月の休館日

23日(木) 勤労感謝の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時～午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時～午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時～午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■11月の移動図書

・上厚真小学校
2日(木)、10、17、24日(金)
午前10時10分～10時25分

・ともいき荘

17日(金) 午後2時00分～2時30分

■おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー
16日(木) 午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

秋の日は釣瓶（つるべ）落としと言いますが、日に日に日没の時間が早まっていることを実感します。朝晩の冷え込みだけではなく、日中も上着が必要になってきました。そんな中でも半袖姿で帰ってくる子どもたち。やっぱり子どもは風の子だと思いつつ同時に、風邪の子にならないことを願うばかりです。

9月のプログラムでは、工作用の段ボールを使って写真を飾れるアートフレームを作ったり、チームで協力して謎を解く宝探しなどのプログラムを行いました。キラキラしたビーズやスパンコール、可愛いテープやシールが子どもたちは大好きです。あれこれ組み合わせを考えて、とても素敵な作品に仕上がりました。謎解き宝探しは、写真を手がかりにミッション（課題）が書かれたカードを探し出し、ミッションを次々に解いて最後には宝物がもらえるというゲームです。子どもたちは3～4人1組に分かれ、役割分担をしたり知恵を出し合いながら謎解きに挑戦していました。10月前半のプログラムでは、ミニバレーや放課後ミニ実験として、“もし、自分が植物だったとしたら、どんな種を作って、より遠くへ種を飛ばせるか”を考えて、種の模型を作る活動を行いました。飛行機のように翼がある形のもの、紙風船に重りを入れて転がるようにしたものや、細く切った紙を合わせてフワフワと飛んでいくもの。学校で学習した内容と、実際に見たことのある綿毛やドングリなどの植物の種を参考に、子どもたちの発想力が光る種模型がたくさんできました。作ったものを飛ばしてみると、予想通りの飛び方をしたという子もいれば、予想とはまったく違う動きをしたという子もいました。子どもたちが頭の中に描いたイメージと、実際に目の前で起きたことの違いがなぜ起こるのか、できるだけイメージに近づけるためにはどうすれば良いのか。自分が作った模型を手に、工夫をする様子がとても印象的でした。



放課後特別教室として9月30日（土）に「稲刈り体験プログラム」を、10月8日（日）に「本気の厚真町PRプログラム」を開催しました。5月に田植えをさせてもらった田んぼにたわわに実って頭（こうべ）を垂れる稲穂たち。雨続きの天気で足場が悪く、どろんこだらけになりましたが、子どもも大人も一緒になって最後まで刈り取り作業を頑張りました。厚真町のPRプログラムは、毎年、苫小牧市内で開催されているあつま新鮮組主催の『特産市』でお手伝い。特産品のジンギスカンやおふくろ味噌、厚真産の新鮮野菜などをお客さんに販売しました。新鮮組のみなさんからも立派な戦力として期待されている子どもたちです。お客さんや地域の青年層のみなさんからもらった“ありがとう”は、子どもたちの自信につながっていると思います。ご協力をいただいたみなさんに心から感謝いたします。

